

令和5年度 後期学校評価アンケート 結果のお知らせ

<学校教育目標>

自ら関わり、ともに支えあい学びにチャレンジする子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き 地域大好き 嵐山の子～

早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育推進のためにご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。保護者の皆様にはお忙しい中、12月「令和5年度後期学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。令和5年度前期のアンケート結果と比較し、その集計結果を考察したいと思います。

確かな学力

①～⑨の確かな学力についての質問に対する結果を見ると、全体的に前期より「よくできている」の割合が減ったといえます。逆に、「あまりできていない」「できていない」の割合が増えました。1年間を過ごし、自分は「もう少しできるはずだ。」「もう少しこのようになるといいのに。」と厳しく自分と向き合う力が付き、学習についても、ふりかえりをきちんと行えるようになったからではないかと考えます。

③「先生や友達の話をしっかり聞いていますか。」の項目では、後期も「よくできている」「できている」と回答した児童は全体の9割を超え、前期と共に高い割合を維持していますが、「あまりできていない」「できていない」を選んだ児童は、前期の3ポイント増えて8%でした。後期になると、学習も徐々に難しくなり、また慣れも出てきたからではないかと考えます。④「学校での学習はよくわかりますか。」の項目でも同様のことが言えます。「よくできている」「できている」と答えた児童の割合は、前期とあまり変わりはありませんが、「できてない」と選んだ児童が前期1%から2.3%と2倍強のポイントとなっていました。

学力は、一朝一夕で身につくものではありません。自分を出してもよいと思え、安心できる教室で、仲間と共に日々努力することで身につきます。年度途中で、「できない」「おもしろくない」と児童が思うことなく、1年を通して、頑張るためには、教職員や保護者の皆さんが子ども達に「できているよ。」「がんばっているね」などと、自己肯定感を高め、励ます声かけをしていく必要があるのではないかと考えます。



児童アンケート結果（上段後期・下段前期、単位：％）

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	わからない
① 授業中、進んで学習に取り組んでいますか。	48.5 49.2	40.3 39.5	9.1 8	1.3 1	0.8 2.3
② 色々なことにめあてをもって粘り強く努力していますか。	40.3 46.3	44.2 39.9	7.2 9	2 1.9	6.3 2.9
③ 先生や友達の話をしっかり聞いていますか。	60.1 64	31.6 29.9	6.1 4.5	1.9 1	0.4 0.6
④ 学校での学習はよくわかりますか。	62 66.6	30 26	5.3 5.5	2.3 1	0.4 1
⑤ ノートを工夫して丁寧に書いていますか。	50.6 54.7	32.7 29.9	12.9 10.9	2.7 3.2	1.1 1.3
⑥ 自分の思いや考えを進んで発表していますか。	41.8 41.5	29.3 35.7	19.8 14.5	7.6 6.1	1.5 2.3
⑦ 進んで読書をしていますか。	45.6 55.3	25.1 24.4	19.4 10.6	8.4 7.1	1.5 2.6
⑧ 宿題を毎日忘れずしていますか。	62.7 69.8	26.2 20.3	6.1 3.9	3.4 5.1	1.5 1
⑨宿題とは別に 家庭学習に 取り組んでいますか。（塾も含みます）	43.7 51.8	27 23.2	16.3 11.3	9.5 7.1	3.4 6.8
⑩失敗をおそれずに 最後まで挑戦しようとしていますか。	49 56.6	38.4 32.8	9.5 8.7	1.5 1.6	1.5 0.3
⑪学校や家で、自分からあいさつや返事をしていますか。	60.5 63	30.4 28.6	5.7 5.8	2.7 1.9	0.8 0.6
⑫自分も友達も大切にして 仲良く過ごしていますか。	70.7 75.6	24 21.2	3 1.3	1.5 0.6	0.8 1.3
⑬学校生活を楽しく過ごすことができていますか。	71.5 77.5	22.8 17.4	4.6 3.5	0.8 0.3	0.4 1.3
⑭学校・学級の「きまり」「約束」を守っていますか。	55.9 64.6	35 29.6	6.8 3.5	1.1 1.3	1.1 1
⑮夢や 目標をもって 学習していますか。（毎日の生活の中の目標や 将来の夢など）	61.6 66.6	25.5 20.6	8 7.1	1.9 2.6	3 3.2
⑯人を いじめたり 仲間はずれにしたり しないように 気をつけていますか。	68.8 79.4	14.4 10.6	3 0.6	7.6 4.2	6.1 5.1
⑰毎日、早寝・早起きをしていますか。（朝7時には起きて、夜10時には寝ていますか）	44.1 45	30.4 36	19.8 13.8	4.9 3.9	0.8 1.3
⑱好き嫌いをなく給食を食べていますか。	62.4 68.5	27 22.5	7.6 4.5	1.5 2.9	1.5 1.6
⑲ゲームやテレビの時間を 守り、進んで体を動かしていますか。	47.9 50.2	28.5 28	12.9 14.1	8.7 4.8	1.9 2.9
⑳安全（交通・防犯）に気をつけて過ごしていますか。	81.4 79.7	15.2 16.4	1.1 1.9	1.5 1.3	0.8 0.6
㉑学校からのプリントや手紙を、家の人に見せていますか。	60.8 70.1	30 23.2	5.7 3.9	3 2.3	0.4 0.6

豊かな心



⑩～⑯の豊かな心についての質問に対する結果からは、⑪「学校や家で、自分から あいさつや 返事をしていますか。」の項目で「よくできている」「できている」と答えた児童の割合が前期同様、9割を超えていました。本校のめざす子ども像の一つを『あいさつを自発的にできる子ども』とし、あいさつや返事を自発的な習慣として意識できるように取り組んできました。本校児童会でも、外国語のあいさつを自分たちで決め、自発的に取り組んでいることで、朝から楽しい気分で挨拶をしている児童が増えてきたのではないかと考えます。⑬「学校生活を楽しく過ごすことができていますか。」の項目に対する「よくできている」「できている」の割合は、全体の95%となり、年間を通して、学校生活を楽しく送ることができる児童が多く、大変うれしく思います。しかしながら、「あまりできていない」「できていない」と答える児童も多くはありませんが、一定の割合で見られました。⑯「人をいじめたり、仲間外れにしたりしないように気をつけていますか」の項目では、「よくできている」「できている」と選んだ児童の割合は8割を超えていますが、「あまりできていない」「できていない」を選んだ児童は、全体の1割を超えています。いじめは絶対に許さないといた姿勢を大人も子どもも貫き、悲しい思いを誰もがしないように、今後も注視していく必要があると考えます。

健やかな体

⑰～⑲の4つの項目は、健やかな体について尋ねるものです。⑱「好き嫌いをなく給食を食べていますか」の項目では、「よくできている」「できている」を回答した児童は、全体のおよそ9割でした。前期アンケートも9割を超えていましたので、年間を通して、好き嫌いをせず、しっかりと食べていたようです。⑲「ゲームやテレビの時間を守り、進んで体を動かしていましたか」の項目では、約85%の児童がよく体を動かしていたようです。小学生は、運動神経が大きく伸びる黄金期と言われます。「大なわ大会」など、子ども達が元気に体を動かすことのできる取り組みを児童会中心に、今後もチャレンジしていきたいと思います。



<保護者・教職員アンケート結果>

ここでは、子ども達の育成に大きく関わる保護者の方と本校教職員のアンケート結果を比較し、大人の関わりについて考察したいと思います。子ども達のアンケートについて、表面について考察した項目について関連したものについて記載します。



確かな学力

子ども達に、自分の考えを進んで伝えているかという問いに対して、保護者の方、教職員にも子どもがそれをできているかを尋ねました。保護者の方は、「よくできている」「できている」を合わせて7割、教職員は、9割が選択しており、保護者の方と教職員では大きく差が開きました。子どもは、自分でしなければいけない場面が家庭の場合と比べて、学校では何かと多いです。保護者の方が思われるよりも、子ども達は、学校で自分の言葉で一生懸命述べようとしているのかもしれません。子どもの頑張りについて、保護者の皆さんと教職員が共有できる場として、懇談会があげられます。子どもを伸ばす声かけを保護者の方、教職員双方でできればよいと考えます。自立心を高め、自分の言葉で考えを述べることは、子ども達が今後生きていく上で大切な力であることは間違いありません。私たち大人は、子どものそばにいる人間として、子どもが頑張っているその時にこそ「がんばっているね。」「できるようになってきたね。」と言えることが子どもを伸ばす上で大切ではないでしょうか。

学校生活については、子どもが日々の学校生活を楽しいと感じているか、またその指導ができているかどうかを保護者の方、教職員に尋ねたところ、「よくできている」「できている」の答えを選択したのは、保護者の方は全体の9割を越え、教職員は7割を越えていました。子ども達が学校を楽しく思え、「明日も学校に行きたい」と思えるということは、子ども一人一人が大切にされ、自分には居場所があると感じられる学校のことです。また、1年を通して「できるようになった」ことがたくさんあれば、それは、「楽しい学校」だったと言えます。子どものそばにいる大人たちは、子どもに寄り添い、時には励まし、指導し、子どもとともに喜びあえる存在でありたいと思います。

豊かな心

健やかな体



<児童のアンケートと比べて>

保護者のアンケートは、子どものことを尋ねるものである反面、教職員のアンケートは自分の指導を問うものになっているため、単純な比較は難しいですが、子どもがより良く育つために大人が考えを共にしていくことが大切ではないかと考えます。

<自由記述欄について>

今年度の自由記述欄には、今年度から嵐山小学校で始めました『学年担任制』についてご意見を伺いました。本校において、学年担任制は、1年生から3年生の3学年で取り組んでいるところです。嵐山小学校で初めての取組であり、すべての教職員で今まで試行錯誤をしながらやってまいりました。

今後も、保護者の皆さんのご意見も伺いながら取り組んでいきます。なお、記述欄については、学年を問わず、記入していただきました。ご意見をくださった皆様、貴重なご意見を誠にありがとうございました。

<皆様からのご質問・ご意見>

- 始まった当初は不安でしたが今は大丈夫です。
- 複数の先生がおられるので、子どもは楽しいそうです。進級の時も次年度もどなたかは学校におられるだろうから、子どもが安心できるかと思います。また、何かあっても他の先生がおられることで、子どもの気持ちの逃げ場があって良いと思います。ただ、連絡事項が学年担任間で共有されてないと感じたことがあり、子ども自身にしっかり言い聞かせないといけないと思っています。
- 保護者懇談会の時などに、学年の先生方がどの教科を教えてください等のご紹介をして頂ける機会があれば良いなと思います。
- 特に低学年は担任の先生との関わりが大事だと思います。先生は誰?と聞いてもわからないことがよくあります。連絡事項も他の先生方に周知出来ているのかなど疑問です。高学年で学年担任制になるのなら中学校への準備等理解できる部分もありますが、低学年、特に一年生には厳しいのではないかと思います。
- 複数の先生が色々な視点から見てくださることがありがたいと思っています。
- 導入される前のほうが、すべての面できめ細かく対応してもらえていたと思いますので、まったく機能していないと思います。
- 1人の先生だけではなく複数の先生に受け持ってもらい、かたよらずに案外いいものだと思います。
- 始まってすぐの頃は、先生同士の連携が難しい部分もあるのかなと感じていましたが、最近は、手厚く見て頂けていると思っています。教科ごとに担当してもらい、子どもの小さな変化にも気付いてもらい、本人のやる気につながっています。
- 担任の先生が、子ども個人の事を理解しようとしてくれている姿勢が伝わって良かったです。
- 担任制の方がいいと思いました。1人の先生が50人もの子ども達の性格や個性を理解し対応するのは難しいのではないのでしょうか。3年生の場合、学年主任の先生だけがクラスの問題などに対応するご担当で、他の先生は担当教科だけを教えるという感じを受けました。3年生は2学期から急遽始まった制度なので仕方ありませんが、出来れば3年生を見て頂いている他の先生方も参観などで紹介していただく機会があればと思いました。

<貴重なご意見をありがとうございました。>

今後の参考にさせていただき、嵐山小学校の教育をさらに充実したものにしていきたいと思っています。